平成 24 年度「みえの現場・すごいやんかトーク」（テーマ編）の概要

３月２４日（日）にアスト津で「みえの現場・すごいやんかトーク」を開催しました。

今年度は、市町別の開催とは別に、県が注力していくテーマについて、関連する分野で活動している団体などから横断的にそのテーマに基づくご意見をお聞きするテーマ別の「みえの現場・すごいやんかトーク」も実施しており、今回は、「命を守る」というテーマで開催しました。

当日は、MMC卒後臨床研修センターを代表する県内の病院の指導医と研修医の皆さん１０名の方にお集まりいただき、活動内容や今後の課題、行政へ期待していることなどについて、ご意見などをお伺いしました。

【参加者からの発言】

参加者の皆さんからは、以下のようなご意見をいただきました。

○ MMCのプログラムは、三重県内の１７の病院が病院間や診療科間の垣根を越えたネットワークで、初期研修に取り組む研修医を支援していくもので、このような取組を行っているのは三重県と岩手県のみである。岩手県は公立病院のネットワークであるが、三重県は、さまざまな形態の病院が一つのプログラムを運用している点で全国初であり、まさにパイロット的な役割があると考えている。

○ このプログラムを通じてたくさんの医師と接することにより、研修医の皆さんには、三重県にはこんなに熱い思いをもっている医者がたくさんいるということを感じてもらいたい。

○ 次の課題は、研修医の皆さんへのキャリア支援。研修医の中には、自分は何がやりたいのか、医師としての方向性が決まっていない人も多いため、どういう形で社会

に役立っていけるのかというキャリア教育が必要だと考えている。

○ 三重県の課題は、初期研修の研修医がどれくらい三重県に残ってくれるかということ。そのためには、魅力ある後期の研修プログラムを地域医療支援センターと連携して作っていく必要がある。

○ このようなフレキシブルで魅力的な研修プログラムが三重県にあるということをもっとＰＲしていくべきである。

○ 後期の研修に関しては、なかなかイメージが沸きにくい。各病院の良さが何であるのか、その病院の顔が見えない。先生やその病院のポリシーがみえるようにもっと「見える化」すべきである。

○ 若い先生たちが交流する場やセミナーの合同開催などが必要ではないか

【知事の発言】

皆さんからのご意見を受け、知事からは次のような発言がありました。

○ セミナーの合同開催については、MMCと地域医療支援センターと県の３者合同で実施できるのではないか。

○ MMC卒後臨床研修センターの初期研修のプログラムがいかに素晴らしいかをＰＲすることは、先生方と行政が協力していけば、相乗効果があると思う。

【特定非営利活動法人MMC卒後臨床研修センターとは】

三重県内の医療人材の確保・育成と地域医療の充実のため、医学生、研修医、指導医、並びに臨床研修病院に対して、臨床研修の円滑な実施に関する事業を行い、医師の充足と県内への定着を図り、広く公益に貢献することを目的に、平成１６年８月に設立したＮＰＯ法人です。

MMCとは、Mie Medical Complex の略で、三重県内の臨床研修施設が参加して、お互い協力し合い一体となって卒後臨床研修を行っています。